



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 株式会社 ミツウロコグループホールディングス
 コード番号 8131 URL <http://www.mitsuuroko.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 晃平

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 児島 和洋

TEL 03-3258-6310

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	79,059	13.1	△133	—	30	△95.1	△243	—
23年3月期第2四半期	69,928	21.6	631	△35.2	610	△37.6	△660	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △179百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,141百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△3.74	—
23年3月期第2四半期	△9.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	109,223	59,914	54.8	916.85
23年3月期	110,060	61,074	55.4	934.63

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 59,816百万円 23年3月期 60,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	15.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	2.9	3,300	△15.9	3,300	△18.7	1,700	158.9	25.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	68,137,308 株	23年3月期	68,137,308 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,896,040 株	23年3月期	2,895,564 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	65,241,455 株	23年3月期2Q	67,164,753 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、東日本大震災の影響により一部生産に持ち直しが見られたものの、企業収益は減少傾向にあり、雇用情勢や個人消費も低迷が続くなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループ主力のエネルギー事業の周辺環境では、原油価格やLPガス仕入価格の指標となるCP(Contract Price = 輸入通告価格)が前年同期と比較して高水準で推移したこと、また、東日本大震災以降に消費者の「節電」「省エネ」意識が高まったことなどから、主力商品であるLPガスの販売量が大きく減少したことに加え、販売管理費の増加による影響もあり、当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の収益は厳しいものとなりました。

こうした状況下、被災地復興による住宅機器類の販売増加や、期初から堅調に続くミネラルウォーターの販売増加、並びに節電下における売電単価の上昇等、第1四半期から継続する業績拡大要因に加え、本年5月に新たな営業拠点を九州地区に設置したことによる石油製品の販売量増加や、今年度15店舗(累計)の出店を計画している「都市型小売店舗「エコイス」」による生活周辺サービス事業(ミネラルウォーター、太陽光発電システム、リフォーム等)の強化や、積極的な広告宣伝施策の効果等もあり、売上高は前年同期比13.1%増の790億59百万円と伸長いたしましたが、既述のLPガス販売量減少と夏場のミネラルウォーター事業の重点的な販売促進キャンペーン及び設備投資による販売管理費増加に伴う収益減少を補うまでには至らず、営業利益は前年同期から7億64百万円減少し1億33百万円の営業損失(前年同四半期は営業利益6億31百万円)、経常利益は前年同期比95.1%減の30百万円となり、四半期純損失は、新会計基準適用により資産除去債務を計上した前年同期から4億16百万円改善され、2億43百万円となりました(前年同四半期は四半期純損失6億60百万円)。

なお、ウォーターサーバー設置に係る投資金額は3億69百万円(うち当第2四半期連結累計期間の器具備品費計上額2億39百万円、当第2四半期連結会計期間の貯蔵品計上額1億30百万円)、エコイス、エコイスアイ新規出店に伴う投資金額は40百万円(下期95百万円計上予定)であり、次年度も同程度の出店を計画しております。

各セグメントの状況は次のとおりです。

(エネルギー)

石油製品、住宅機器類及び太陽光発電システム等新エネルギー関連機器の販売増加により、売上高は前年同期比11.8%増の746億6百万円となりましたが、LPガスの販売量の減少と販売管理費の増加の影響により、営業利益は前年同期比60.5%減の4億35百万円となりました。

(不動産賃貸)

売上高は前年同期比ほぼ同額の5億35百万円となりましたが、営業費用の増加により営業利益は前年同期比16.8%減の1億97百万円となりました。

(アミューズメント)

横浜駅西口のHAMABOWL EAS(ハマボールイアス)につきましては、東日本大震災により一時休止しその後再開した温浴施設を中心として堅調に推移しましたが、ボウリング場が閉鎖となった影響等により、売上高は前年同期比21.4%減の7億20百万円、営業損失は営業費用の減少により前年同期比37百万円改善し、1億72百万円(前年同四半期は営業損失2億9百万円)となりました。

(電力)

特定規模電気事業者としての電力の販売増加により、売上高は前年同期比247.1%増の19億48百万円、営業利益は電力の販売増加によるものに加え、新たに連結の範囲に含めたバイオマス発電事業会社㈱岩国ウッドパワーによる調達電源のコスト低減の他、風力発電所の修繕維持コスト低減により前年同期比1億38百万円改善され71百万円(前年同四半期は営業損失66百万円)となりました。

(その他)

ミネラルウォーターの販売量増加の影響により、売上高は前年同期比8.2%増の12億47百万円、販売促進に伴う営業費用増加の影響により営業損益は前年同期比2億32百万円減少し2億16百万円(前年同四半期は営業利益15百万円)の営業損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、現金及び預金の減少2億2百万円、受取手形及び売掛金の減少15億17百万円、投資有価証券の増加2億53百万円等により、前連結会計年度末と比較して8億37百万円減少の1,092億23百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金の減少4億57百万円、未払法人税等の減少3億77百万円、長期借入金の増加4億59百万円等により、前連結会計年度末と比較して3億21百万円増加の493億8百万円となりました。

(純資産)

純資産は、配当金の支払い9億80百万円及び四半期純損失2億43百万円等による利益剰余金の減少12億23百万円等により、前連結会計年度末と比較して11億59百万円減少の599億14百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.6ポイント減少して54.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失の減少、減価償却費の減少等により前年同期比54百万円(2.8%)増加し、19億88百万円の現金及び現金同等物を得ました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出の増加、事業譲渡による収入の減少等により前年同期比12億9百万円(8,330.9%)支出が増加し、12億23百万円の現金及び現金同等物を使用しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れの返済の減少等により前年同期比6億89百万円(35.0%)支出が減少し、現金及び現金同等物を12億79百万円使用しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比較して4億68百万円減少し161億55百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、原油価格及びLPGガスの仕入価格の動向並びに市場の動向によっては厳しい状況も想定されますが、平成23年5月19日の決算発表時に公表した数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,473	31,270
受取手形及び売掛金	13,985	12,468
商品及び製品	3,189	3,203
原材料及び貯蔵品	199	315
繰延税金資産	656	785
その他	2,015	2,360
貸倒引当金	△134	△137
流動資産合計	51,385	50,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,188	13,024
機械装置及び運搬具(純額)	8,851	8,680
土地	12,636	12,964
建設仮勘定	17	55
その他(純額)	860	792
有形固定資産合計	35,554	35,518
無形固定資産		
のれん	2,118	1,963
その他	804	1,275
無形固定資産合計	2,923	3,238
投資その他の資産		
投資有価証券	10,380	10,634
繰延税金資産	724	657
その他	9,296	9,075
貸倒引当金	△285	△206
投資その他の資産合計	20,116	20,160
固定資産合計	58,595	58,916
繰延資産	80	41
資産合計	110,060	109,223

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,612	11,155
1年内償還予定の社債	3,000	3,000
短期借入金	6,327	6,887
未払法人税等	560	183
引当金	1,045	998
その他	2,419	2,497
流動負債合計	24,965	24,722
固定負債		
長期借入金	14,421	14,881
繰延税金負債	2,139	2,330
退職給付引当金	1,248	1,209
その他の引当金	476	400
資産除去債務	698	694
その他	5,037	5,068
固定負債合計	24,021	24,585
負債合計	48,986	49,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,077	7,077
資本剰余金	5,843	5,843
利益剰余金	48,574	47,350
自己株式	△1,603	△1,603
株主資本合計	59,893	58,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,397	1,500
繰延ヘッジ損益	△314	△352
その他の包括利益累計額合計	1,083	1,147
少数株主持分	98	98
純資産合計	61,074	59,914
負債純資産合計	110,060	109,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	69,928	79,059
売上原価	57,869	67,071
売上総利益	12,058	11,987
販売費及び一般管理費	11,427	12,121
営業利益又は営業損失(△)	631	△133
営業外収益		
受取利息	53	37
受取配当金	110	115
その他	281	359
営業外収益合計	445	512
営業外費用		
支払利息	276	268
その他	188	79
営業外費用合計	465	348
経常利益	610	30
特別利益		
固定資産売却益	22	75
事業譲渡益	160	—
その他	4	6
特別利益合計	188	82
特別損失		
固定資産除却損	43	70
固定資産売却損	6	0
投資有価証券評価損	92	127
退職給付費用	351	—
役員退職慰労金	229	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	601	—
その他	13	0
特別損失合計	1,337	198
税金等調整前四半期純損失(△)	△538	△85
法人税、住民税及び事業税	227	214
法人税等調整額	△99	△56
法人税等合計	128	157
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△666	△243
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△6	0
四半期純損失(△)	△660	△243

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△666	△243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△373	104
繰延ヘッジ損益	△113	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△2
その他の包括利益合計	△475	64
四半期包括利益	△1,141	△179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,135	△179
少数株主に係る四半期包括利益	△6	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△538	△85
減価償却費	1,946	1,872
のれん償却額	—	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	327	△38
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△511	△75
貸倒引当金の増減額(△は減少)	36	△75
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△31
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	6	—
受取利息及び受取配当金	△164	△153
支払利息	276	268
持分法による投資損益(△は益)	78	△12
投資有価証券評価損益(△は益)	92	127
固定資産除売却損益(△は益)	26	△5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	601	—
事業譲渡損益(△は益)	△160	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,999	1,649
たな卸資産の増減額(△は増加)	588	△120
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,219	△482
その他	△619	△155
小計	2,768	2,683
利息及び配当金の受取額	155	207
利息の支払額	△277	△269
法人税等の支払額	△711	△633
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,934	1,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△275	△9,974
定期預金の払戻による収入	601	9,689
有形固定資産の取得による支出	△238	△422
有形固定資産の売却による収入	86	232
有形固定資産の除却による支出	—	△28
無形固定資産の取得による支出	△438	△847
事業譲渡による収入	101	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△84
投資有価証券の売却による収入	1	1
子会社株式の取得による支出	—	△0
短期貸付金の増減額(△は増加)	0	0
長期貸付金の回収による収入	8	7
その他	140	201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14	△1,223

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	430
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△852	△955
リース債務の返済による支出	△61	△74
自己株式の取得による支出	△41	△0
配当金の支払額	△1,011	△979
その他	△2	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,968	△1,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△48	△513
現金及び現金同等物の期首残高	17,633	16,623
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	45
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,585	16,155

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	エネルギ ー	不動産 賃貸	アミュー ズメント	電力	計				
売上高									
外部顧客への売上高	66,760	535	917	561	68,775	1,153	69,928	—	69,928
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	8	0	—	48	11	59	△59	—
計	66,800	544	917	561	68,823	1,164	69,987	△59	69,928
セグメント利益又は 損失(△)	1,103	237	△209	△66	1,064	15	1,079	△448	631

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、ミネラルウォーターの製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△448百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告には配分していない全社費用△451百万円及びその他調整額4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	エネルギ ー	不動産 賃貸	アミュー ズメント	電力	計				
売上高									
外部顧客への売上高	74,606	535	720	1,948	77,811	1,247	79,059	—	79,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	6	—	45	89	22	111	△111	—
計	74,643	542	720	1,993	77,900	1,269	79,170	△111	79,059
セグメント利益又は 損失(△)	435	197	△172	71	532	△216	315	△449	△133

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、ミネラルウォーターの製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△449百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告には配分していない
全社費用△448百万円及びその他調整額△1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント
に帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。